



取引履歴の解析に基づくBitcoinのサービス識別手法

慶應義塾大学 理工学部 情報工学科 豊田健太郎 / toyoda@ics.keio.ac.jp

研究目的

仮想通貨による犯罪フォレンジクスのために、与えられたBitcoinアドレスが含まれる取引履歴を解析・処理し、教師あり学習によりそのBitcoinアドレスがどのような犯罪・サービスに使用されているかを識別する手法を開発しています



取引所



マイニングプール



マーケットプレイス



ギャンブル



フォセット



ロンダリング



投資詐欺

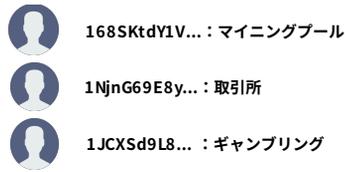
提案手法 [1]

[1] K. Toyoda et al., "Multi-class Bitcoin-enabled Service Identification Based on Transaction History Summarization" in Proc. of IEEE International Conference on Blockchain 2018.



1. Webからのデータ収集

様々な目的に使用されているBitcoinアドレスを収集



2. アドレス・クラスタリング

同一ユーザが保持する複数のBitcoinアドレスを推定



3. 取引履歴の抽出

ユーザ毎にBitcoin取引履歴の抽出



4. 取引履歴の特徴抽出

ユーザ毎に取引の特徴抽出 (取引頻度, 送受の割合, 送受額の大きさ...)



5. 機械学習

取引の特徴の違いを教師あり学習により学習し、Bitcoinアドレス毎にサービスを識別

特性評価

データセット : Webから収集し、マニュアルでラベル付加した計26,313件のBitcoinアドレス

識別器 : Random Forests (#Trees = 100)

評価項目 : 10-fold 交差検証で求めた正答率 (サービス毎にBitcoinアドレスを正しく識別した割合)

	取引所	フォセット	ギャンブル	投資詐欺	マーケットプレイス	ロンダリング	マイニングプール
取引所	0.41	0.04	0.14	0.12	0.17	0.05	0.06
フォセット	0.04	0.80	0.04	0.09	0	0	0.03
ギャンブル	0.10	0.06	0.54	0.15	0.11	0	0.05
投資詐欺	0.04	0.12	0.09	0.72	0.01	0	0.02
マーケットプレイス	0.05	0	0.08	0	0.85	0.02	0
ロンダリング	0.02	0	0	0	0.04	0.94	0.01
マイニングプール	0.12	0.09	0.06	0.03	0	0.01	0.70



Bitcoinの取引履歴の時系列解析： Pirate@40の高利息投資プログラムの例

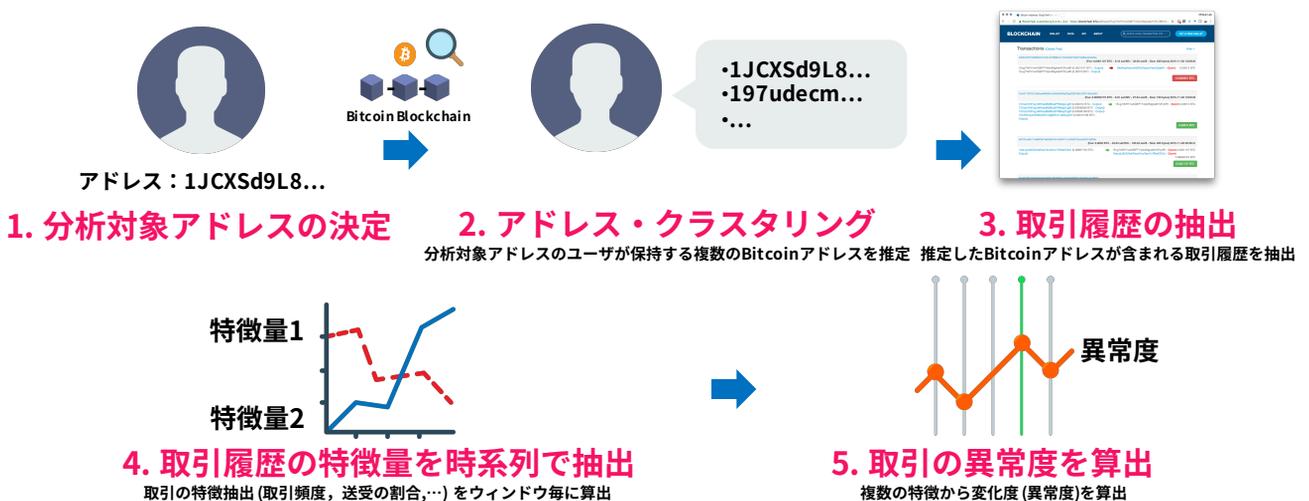
慶應義塾大学 理工学部 情報工学科 豊田健太郎 / toyoda@ics.keio.ac.jp

研究背景

- Bitcoinはアドレス間で送金を行う**仮想通貨**として急速に普及しています
- Bitcoinアドレスの作成は個人情報が必要としないため、**違法商品の取引決済**、**投資詐欺 (高利息投資プログラム)**などに悪用されるケースが報告されています
- そこでフォレンジクスの観点から、分析対象のBitcoinアドレスが含まれる取引履歴を**時系列解析**し、**取引の傾向の変化度を算出**する手法が求められています



提案手法：Bitcoinの取引履歴の時系列解析手法 [2]



特性評価

Pirate@40の高利息投資プログラムとは：

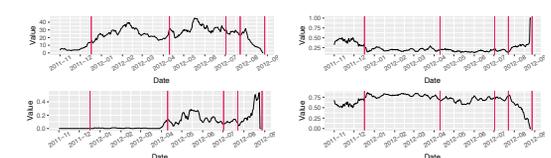
- ハンドルネーム (Pirate@40) による投資詐欺
- 週利7%の高利息投資プログラム
- 2011年11月にFirst Pirate Saving & Trustとして登場
- 2012年8月に利息の配当を停止
- 2013年, 米国SECが告発



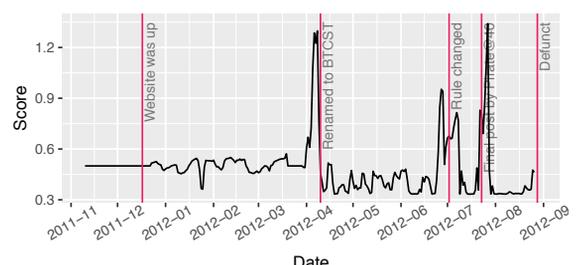
Source: The Wall Street Journal,

異常検知により検知すべき主なイベント：

1. 2011年12月17日 ホームページを公開
2. 2012年 4月10日 BTCST (Bitcoin Saving & Trust) と名称変更
3. 2012年 7月2日 週利を7%から5%に引き下げ
4. 2012年 7月23日 Pirate@40から最後の投稿
5. 2012年 8月26日 配当を停止



Pirate@40の取引履歴から算出した4つの特徴量の時系列変化



4つの特徴量から手法[1]で算出した異常度の変化と5つのイベント

[1] R. Jiang et al., "Anomaly Localization for Network Data Streams with Graph Joint Sparse PCA," in ACM KDD 2011.
 [2] K. Toyoda et al., "Time Series Analysis for Bitcoin Transactions: The Case of Pirate@40's HMP Scheme," in IEEE ICDDW 2018.